

九州地方整備局事業評価監視委員会  
(平成29年度第5回)の議事概要について(速報)

■開催日時：平成30年1月31日(水) 14:00~16:00

■開催場所：福岡第二合同庁舎 2階 共用第2・3・4会議室  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号

## ■主な議題

## ○審議【事後評価】

## &lt;道路事業&gt;

- ・一般国道251号 島原中央道路 (長崎県)
- ・一般国道10号 古国府拡幅 (大分県)
- ・一般国道210号 田原拡幅 (大分県)
- ・一般国道10号 延岡道路 (宮崎県)
- ・一般国道10号 加治木バイパス (鹿児島県)
- ・一般国道225号 川辺改良 (鹿児島県)

## &lt;港湾事業&gt;

- ・北九州港洞海地区新若戸道路整備事業 (福岡県)

## &lt;営繕事業&gt;

- ・熊本地方合同庁舎 (熊本県)

## ○報告【事後評価】

## &lt;ダム事業&gt;

- ・大山ダム建設事業 (大分県)

なお、議事概要についての詳細は、別紙のとおりになります。

## &lt;問い合わせ先&gt;

国土交通省九州地方整備局 TEL 092-471-6331 (代表)

- |         |       |          |                       |
|---------|-------|----------|-----------------------|
| ○事業評価全般 | 企画部   | 技術企画官    | 坂本 隆一 (内線 3126)       |
|         |       |          | TEL 092-476-3542 (直通) |
| ○道路事業   | 道路部   | 道路計画第一課長 | 米村 享紘 (内線 4211)       |
|         |       |          | TEL 092-476-3529 (直通) |
| ○港湾事業   | 港湾空港部 | 港湾計画課長   | 甲斐 信治 (内線 62320)      |
|         |       |          | TEL 092-418-3358 (直通) |
| ○営繕事業   | 営繕部   | 技術・評価課長  | 松崎 幸治 (内線 5451)       |
|         |       |          | TEL 092-476-3538 (直通) |

独立行政法人水資源機構 TEL 0942-34-7001 (代表)

- |       |      |         |               |
|-------|------|---------|---------------|
| ○ダム事業 | 筑後川局 | 総合施設管理長 | 吉岡 敏幸 (内線204) |
|-------|------|---------|---------------|

**九州地方整備局事業評価監視委員会（平成29年度 第5回）**  
**議 事 概 要 （ 速 報 ）**

○日 時 平成30年1月31日(水) 14:00～16:00

○場 所 福岡第二合同庁舎 2階 共用第2・3・4会議室

○出席者

- ・委員 勢一委員、園田委員、津田委員、戸田委員、廣岡委員、吉武委員
- ・整備局 増田局長、村岡副局長、下山副局長、藤巻企画部長、井浦建政部長、竹島河川部長、前佛道路部長、中村港湾空港部長、佐藤営繕部長、川浪用地部長 他

○資 料

- ・議事次第、配席図、委員名簿
- ・資料－1 平成29年度第5回委員会対象事業一覧・位置図
- ・資料－2 平成29年度第5回事業評価監視委員会
- ・資料－3 一括報告案件一覧

○議 事

1. 開会

2. 議題

1) 事務局からの説明

2) 対象事業の審議・報告

○審議【事後評価】 道路6事業、港湾1事業、営繕1事業

○報告【事後評価】 ダム1事業

○審議【事後評価】

<道路事業>

- ・一般国道251号 島原中央道路（長崎県）
- ・一般国道10号 古国府拡幅（大分県）
- ・一般国道210号 田原拡幅（大分県）
- ・一般国道10号 延岡道路（宮崎県）
- ・一般国道10号 加治木バイパス（鹿児島県）
- ・一般国道225号 川辺改良（鹿児島県）

<港湾事業>

- ・北九州港洞海地区新若戸道路整備事業（福岡県）

<営繕事業>

- ・熊本地方合同庁舎（熊本県）

○報告【事後評価】

<ダム事業>

- ・大山ダム建設事業（大分県）

3. 閉会

○審議結果

事務局より事後評価の審議対象事業（道路6事業、港湾1事業、営繕1事業）について説明し、審議を行った。

【一般国道251号 島原中央道路】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【一般国道10号 古国府拡幅】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【一般国道210号 田原拡幅】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【一般国道10号 延岡道路】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【一般国道10号 加治木バイパス】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【一般国道225号 川辺改良】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【北九州港洞海地区新若戸道路整備事業】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

【熊本地方合同庁舎】

- ・審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

○報告

事務局より事後評価の報告対象事業（ダム1事業）について報告。

【大山ダム建設事業】

## 九州地方整備局事業評価監視委員会（平成 29 年度第 5 回）議事録

### 【一般国道 251 号 島原中央道路】

（委員）

B/C が少し上がったのは、事業費の減額と将来交通量の増加によるものであって、計算方法に変わりはないと理解してよろしいか。

（事務局）

基準年の変更による影響はあるが、計算の仕方自体に大きな変更はない。

### 【一般国道 10 号 古国府拡幅】

（委員）

将来交通量が減る要因は何が大きいのか。

（事務局）

人口減少が要因の一つではないかと考えている。

### 【一般国道 210 号 田原拡幅】

（委員）

先ほどの「古国府拡幅」は、将来交通量が 1,000 台くらい減少して B/C が 0.2 に下がっているが、この事業は、2,000 台くらい減少しても B/C はかなり上がっている。これは事業費に変動がないからなのか。さらには、供用の前倒しによりどのくらいのコストが安くなったのか。

（事務局）

供用の 1 年前倒しによって、便益としては 2 億円程度増加している。さらに、将来交通量の変更による 16 億円増を加えると実質的には便益として 18 億円増となり、費用の変更もないことから B/C が上がる結果となっている。

（委員）

これまでの事業に比べて将来交通量の下限と上限の範囲が広がっているが、これはどういう意味なのか。

(事務局)

富士見ヶ丘団地を境に沿道の状況が変化し、OD調査の調査区分が都市部と地方部に分かれるため下限と上限の範囲が広がっている。

(委員)

便益はその区間の平均で算出しているのか。

(事務局)

区間の平均ではない。それぞれの区間の便益を算出して合計している。

#### 【一般国道10号 延岡道路】

(委員)

前回は4車線、今回は2車線でB/Cを計算しているが、どの時点で計算する車線数の考え方を变えるのかといった決まり事はあるのか教えてほしい。

(事務局)

前回の再評価は、将来的な所を含めて事業を評価してもらう場なので4車線でB/Cを計算している。一方、今回の事後評価は、完成した事業の今現在の価値を検証する場なので暫定2車線で計算している。

(委員)

前回の再評価の時に、暫定2車線でB/Cを出していれば、今回と比較ができて評価しやすかったのではないかと思う。どのようなルールでやっているのか。

(事務局)

現在のルールでは、再評価の時はその時の計画、事後評価の時は暫定供用を行っている場合はその供用形態で効果进行评估することになっている。

(委員)

建設発生土の処理について、資料P8の「5. 同種事業の計画・調査のあり方」の中で、事業着手前から関係機関との連絡調整等を密に行うことが重要と指摘しているが、このような知見を整備局内でどのように共有していくのか。

(事務局)

建設発生土のことに限らず、これまでの事業で得られた知見を企画部の方でまとめて各事務所にしっかりと共有していきたい。

(委員)

確認だが、一度暫定2車線で事後評価を受けているので、4車線化の時は、改めて新規事業として議論していくことになるという理解でよろしいか。

(事務局)

ご指摘のとおり4車線化にあたっては、新規事業採択時評価に諮り事業開始していくことになる。

(事務局)

補足として、道路事業・街路事業に係る事後評価実施要領細目第2-2の「対象区間が全線にわたり暫定供用を開始した事業についてはその時点を、それぞれ事業完了とみなすものとする。」に基づいて延岡道路は事業完了扱いになっている。

(委員)

事業完了の定義はわかったが、前回評価が4車線で今回の事後評価は暫定2車線でB/Cを算出しているため、数値を比較できない。また、その他の変化要因の有無について分かりにくい。今後、改善を含めて検討していただけたらと思う。

#### 【一般国道10号 加治木バイパス】

意見なし

#### 【一般国道225号 川辺改良】

(委員)

登坂車線の整備により走行車線を走る普通車の走行速度があがったことはわかるが、現在、大型車両も速く走行できるようになっているのか。

(事務局)

整備後も大型車両の走行速度は時速30km程度であり、登坂車線の整備によって、通常の利用状況における普通車の走行速度が上がったということである。

(委員)

事業の効果を示すのであれば、資料P 4のグラフは、大型車の走行速度と普通車の走行速度の比較ではなく、整備前後の普通車の走行速度を比較すべきだと思う。

(委員)

走行速度は整備前後の同条件のものを比較した方がわかりやすい。今のグラフは比較条件について説明不足で少しわかりづらくなっているので、今後、表現の仕方は工夫していただけたらと思う。

(委員)

線形改良によって、通行止めの回数がどのくらい減少したかというデータはあるのか。

(事務所)

直近で平成5年に自然災害が発生している。今回の改良によって災害が起こる危険個所が回避され防災機能の向上が図られた。なお、事業完成後に災害等は発生していない。

#### 【北九州港洞海地区新若戸道路整備事業】

意見なし

#### 【熊本地方合同庁舎】

(委員)

駐車場が少ないことについて、将来的に何らかの形で改善した方が良いと思うが、実際にこの地域では可能なのか。

(事務局)

現地は熊本駅周辺であり公共交通機関の利便性は高い。駐車場の改善が必要であれば、管理官署の方で運用改善方法を考えていただくことになる。

(委員)

今後、他の項目は改善の余地はあるが、駐車場については、中々改善するのは難しいということか。

(事務局)

そう考えている。通常、駐車場が満車になっていることはない。大人数の会議の時は、若干不足気味にはなるが、公共交通機関の利用や相乗りをお願いするなどの対応をとっている。

(委員)

都市計画の立場からすると、駅周辺に公共施設が立地し、メインの交通手段が公共交通機関になることは、いわゆるコンパクトシティの考え方に合致しており、そういう意味では、車を使わなくても移動できることは大切なことである。

(委員)

CASBEE について良い結果となっているが、駐車場の少なさ、又は、規模の割に効率が良いことなどについては反映されているのか。

(事務局)

「駐車場の少なさ」の項目は入っていないが、街並みへの貢献や省エネ技術の活用などの項目が反映されている。

#### 【大山ダム建設事業】

(委員)

資料で貯留量の単位が  $\text{m}^3/\text{s}$  となっているのが非常にわかりづらい。秒当たりの量ではなく、総量で記載した方が一般には分かりやすいのではないかと。

(事務局)

資料の記述は、ダムを計画や管理する際に日常的に用いている表現で記載している。平成24年の九州北部豪雨でダムの貯留量は873万 $\text{m}^3$ である。

(委員)

専門的な表現はわかりづらいので、今後、表現の仕方を工夫していただけたらと思う。



平成29年度 九州地方整備局事業評価監視委員会  
委員名簿

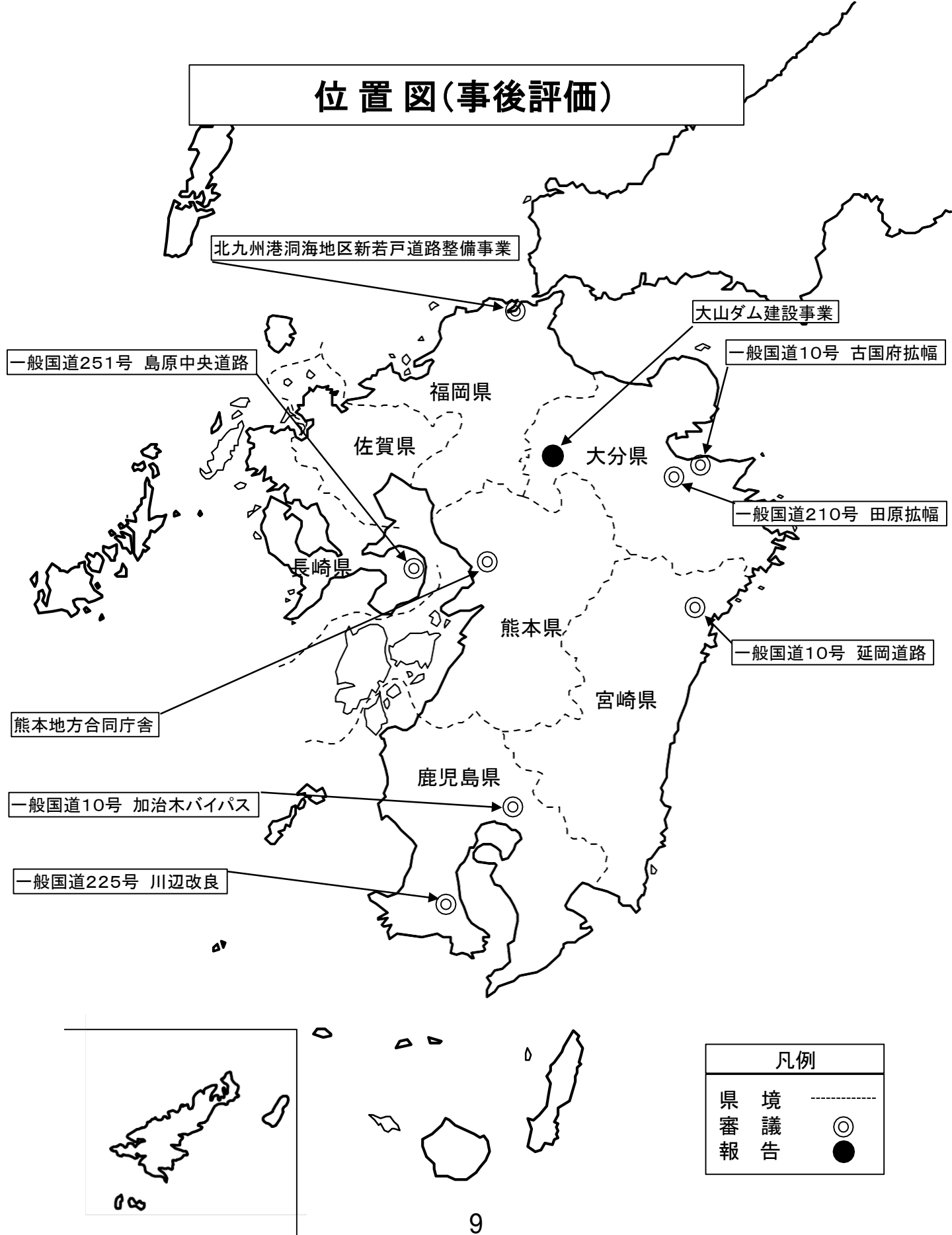
あさの 浅野	としゆき 敏之	鹿児島大学大学院理工学域教授
しばと 柴戸	たかしげ 隆成	(社)九州経済連合会 副会長
せいいち 勢一	ともこ 智子	西南学院大学法学部教授
そのだ ○園田	よしみ 佳巨	九州大学大学院工学研究院教授
ただ 埴田	あきひで 彰秀	長崎大学大学院工学研究科教授
たつみ 辰巳	ひろし 浩	福岡大学工学部教授
つだ 津田	みどり	九州大学大学院農学研究院准教授
とだ 戸田	じゅんいちろう 順一郎	佐賀大学経済学部准教授
ひめの 姫野	ゆか 由香	大分大学工学部助教
ひらた 平田	とおる 暢	福岡大学人文学部教授
ひろおか 廣岡	あきひこ 明彦	九州工業大学大学院工学研究院教授
よしたけ ◎吉武	てつのぶ 哲信	九州工業大学大学院工学研究院教授

※ ◎印：委員長

○印：副委員長

(五十音順、敬称略)

# 位置図(事後評価)



北九州港洞海地区新若戸道路整備事業

大山ダム建設事業

一般国道251号 島原中央道路

一般国道10号 古国府拡幅

福岡県

佐賀県

大分県

一般国道210号 田原拡幅

長崎県

熊本県

一般国道10号 延岡道路

宮崎県

熊本地方合同庁舎

鹿児島県

一般国道10号 加治木バイパス

一般国道225号 川辺改良

凡例

県境	-----
審議報告	◎
報告	●